

# G20、コロナ禍になすすべなし

## 労働者階級が前進する好機



リーマン・ショック後に開かれた第1回のG20サミット。ここに、「国際協調」をめぐる動きは大きく変化した

### 国際協調崩れ、各国は「自国第一」に



第1577号  
2020年7月25日  
定価1部300円  
定期購読  
半年 5400円  
1年 10000円  
振替番号  
00140-5-95121

日本労働党中央委員会  
発行所  
労働新聞社  
編集発行人  
高橋 信  
本社 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋4丁目  
1-5 ボザール飯田橋2階  
電話 03-3265-6506(代)  
FAX 03-3265-6507  
北海道支社 〒001-0022  
札幌市北区北33条西6丁目  
110 206  
電話 011-558-4441  
関西支社 〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-8-29  
チサン第3新大坂501号  
電話 06-6586-9920  
九州支社 〒812-0042  
福岡市博多区豊1-3-8-302  
電話 092-483-1344

労働党ホームページ  
<http://www.japanlabor.party/>  
Eメールアドレス  
shinbun@japanlabor.party

### 主な記事

- 解説／「二〇防衛白書」発表……………2面
- GOTOは大手旅行会社救済策……………3面
- 神奈川／関生支援する会発足……………4面
- 国民連合・神奈川が地位協定で要請行動……………5面

二十カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議が、七月十八日に開かれた。

採択された共同声明では、世界経済について「より大きな下方リスク」を指摘し、「利用可能な政策手段を引き続き用いる。財政・金融政策は必要限り実施され続ける」とした。

世界経済の大きなリスク要因となっている発展途上国の債務問題については、G20で合意済みの返済猶予(二〇二〇年末まで)の「延長の可能性を検討する」とした。

デジタル課税では合意できず、「次回会合で報告書を提出する」とした。

また、ロンドン銀行間取引金利(LIBOR)に代わる基準金利についても決まらなかった。

コロナ禍によって、世界資本主義の危機が浮き彫りとなり、さらに深刻化するなか、世界の支配層は協調どころか、分断を深めてあがいている。

〇八年のリーマン・ショックを機に、G20は国際協調のための主要機関となった。米国をはじめとする帝国主義が衰退し、中国など新興諸国が台頭するなか、帝国主義諸国によるG7による危機対応は不可能だったからである。

だが、危機が深まるなか、G20による協調は、時を置かず困難となった。各国は国内対策に手いっぱいだからである。リーマン後に各国が合意した「経常収支など複数の項目を「相互に監視する」という構想はすぐに吹き飛び、国際通貨基金(IMF)の改革は未だに合意に至らない。諸国は通貨戦争で、互いに危機を押し付け合うありさまであった。一部の国は内戦、暴動が頻発、騒乱状態となった。

危機が深まるなか、「格差」はますます耐え難く、労働者階級・人民は「闘わねば生きられない」事態に立ち至ったからである。

人工知能(AI)などの急速な技術革新も、企業間、国家間の競争をますます激化させる状態となった。資源をめぐる競争も、厳しさを増している。

世界資本主義は末期症状を呈し、資本主義の生産様式の変革期に入ったのである。

「七年、「米国第一」を掲げたトランプ政権が登場し、世界支配のための強引な巻き返しを始めたことは、諸国間の矛盾をいっただんと激化させ、崩れつつあった国際協調をさらに弱体化させることとなった。

トランプ政権は、購買力平価ベースの国内総生産(GDP)で世界一となった中国を抑え込むため、通商問題を皮切りに、安全保障を含む全面的な攻勢に打って出た。米中間は、広義の戦争状態に突入した。

さらにトランプ政権は、第二次世界大戦後、自らがつくりあげた国際諸機関から脱退、あるいは悪罵を投げつけるなど、「秩序」をぶち壊し始めた。

コロナ禍以前に、国家間の対立は激化し、国際協調はすでに「風前の灯火」となっていた。

コロナ禍とそれに対する各国の対応によって、国際協調の実効性はほとんど失われた。

諸国はますます広がる感染症の再開と膨大な財政支出を余儀なくされている。緩和の再開と膨大な財政支出を余儀なくされている。米国の債務をさらに増大させており、債権国である帝国主義、投資家への不満を高めている。

世界の主要矛盾である、米国を中心とする帝国主義諸国と、それ以外の中小諸国との間の矛盾は、ますます激しい。

ここに、世界の支配層は分裂し、帝国主義諸国間も矛盾を深めている。まさに、歴史的激動期、「戦争を含む乱世」である。

全世界の労働者階級・人民、被抑圧民族、中小国にとって、米帝国主義の世界支配を打ち破って前進する好機である。黒人虐殺を契機に米国で高揚している運動は、その先駆けとなり得る闘いである。

最先頭で闘う歴史的任務を負っているのは、全世界の労働者階級である。とくに、先進国労働者が各国で政権をめざして闘い、世界政治に登場してこそ、危機の打開が可能となる。

労働者階級が各国でマルクス・レーニン主義の革命政党を建設し、鍛えなければならぬ。わが党はその一翼を担い、戦略的に奮闘する。

(〇)